

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel.0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

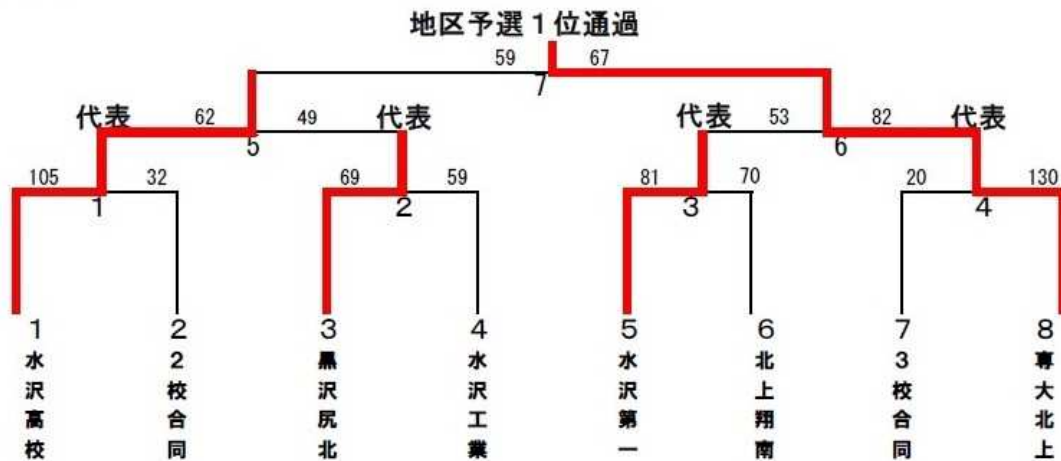
メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

第68回岩手県高等学校新人バスケットボール大会北奥地区予選 男子バスケットボール部1位通過 県大会シード権獲得



第68回岩手県高等学校新人バスケットボール大会北奥地区予選が10月28日(金)〜29日(土)にかけて、奥州市の江刺中央体育館で行われました。1・2年生体制となり初めて公式戦でしたが、昨年は達成出来なかった地区予選1位通過となり、県大会のシード権を獲得することが出来ました。地区決勝は選抜大会で県ベストに入った水沢高校が相手とな

《男子》



り、決して楽な試合展開ではありません。一関市総合体育館を主会場として行われます。昨年の成績を上回るよう、選手と保護者とスタッフ

日(金)〜16日(月)にかけ、一関市総合体育館を主会場として行われます。昨年の成績を上回るよう、選手と保護者とスタッフ

力を合わせて頑張ります。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

(顧問・小野晋博)

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

10月29日(土)秋のオープンスクール開催 オープニングで吹奏楽部マーチングドリル披露 各科の特色紹介とプレゼンテーション入試の説明行われる



11月19日(土)と11月26日(土)
プレゼンテーション入試セミナーを開催します

専修大学北上高等学校で
プレゼンテーション入試を
導入した理由

Q 自らの学びとは？
A 自らが問を立て、それを深めること。答えを見出す力ではなく、自分らしい「答え」を創る力。
中学生の学びは、先生・地域・世界が知っていることを学びます。高校生の学びは、地域・世界の様々な知識と「自分の専門性」をつなげて「活用」して学んでいきます。
Q プレゼンテーションとは？
A 自分の考え・思いを相手にプレゼンテーション。
Q プレゼンテーション入試とは？
A 自分の考え・思いを高校へプレゼンテーション。具体的に言うことで、自分が関心を持つ地域・世界の課題の中で、高等学校入学後に探究したいことについて、①なぜそれを探究したいのか②入学後にどのような探究活動をしたのか③その探究を進めることは、地域や世界をどうよめようとするものであるか、自分の言葉で表現してほしい。
プレゼンテーション入試に不安な受験生は、11月19日(土)と11月26日(土)の2回プレゼンテーション入試セミナーを開催するので積極的に参加してほしい。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

県高校新人大会卓球競技 男子団体優勝・女子団体優勝 (男子19年連続36度目の優勝) (女子4年ぶり2度目の優勝)



10月21日(金)23日(日)
(奥州市総合体育館)

【男子】

- ▽2回戦 専大北上3-0盛岡工業
- ▽3回戦 専大北上3-0盛岡商業
- ▽準々決勝 専大北上3-0一関工業
- ▽準決勝 専大北上3-0一関二
- ▽決勝 専大北上3-0盛岡市立
- 兼平優斗3-0伊藤
- 佐藤颯太3-0砂子
- 野中大地3-0角田
- 佐藤達太 高橋

◆ダブルス

- ▽準決勝 野中大地3-1和田清斗
- 佐藤達太 菊池稔真
- (専大北上) (専大北上)



ダブルス優勝 菊池稔真選手 高橋心愛選手



ダブルス優勝 野中大地選手 佐藤達太選手



シングルス準優勝 野中大地選手 (普2年) (軽米中出身)



シングルス優勝 佐藤達太選手 (普2年) (花巻中出身)

- 兼平優斗3-0齋藤太一
- 佐藤颯太 鈴木李空
- (専大北上) (専大北上)
- ▽決勝 野中大地3-0兼平優斗
- 佐藤達太 佐藤颯太
- (専大北上) (専大北上)
- ◆シングルス
- ▽準決勝 野中大地3-2齋藤太一
- (専大北上) (専大北上)
- 佐藤達太3-0兼平優斗
- (専大北上) (専大北上)
- ▽決勝 11-6
- 11-5
- 14-12

【女子】

- ▽2回戦 専大北上3-0盛岡中央
- ▽準々決勝 専大北上3-0盛岡市立
- ▽準決勝 専大北上3-1一関二
- ▽決勝 専大北上3-1吉田
- 菊池叔奏3-0大森
- 菊池叔奏3-1佐藤
- 高橋心愛3-1佐藤

◆ダブルス

- ▽準決勝 菊池叔奏3-2板屋
- 高橋心愛 佐藤
- (専大北上) (盛岡市立)
- ▽決勝 菊池叔奏1-3佐藤
- 高橋心愛 吉田
- (専大北上) (盛岡二)

◆シングルス

- ▽準決勝 高橋心愛3-0大山
- (専大北上) (一関二)
- ▽決勝 高橋心愛3-0佐藤
- 11-6
- 13-11
- 11-6



ダブルス準優勝 兼平優斗選手 佐藤颯太選手



シングルス優勝 高橋心愛選手 (GB1) (花巻中出身)



後藤琴葉選手



能谷美袖選手



菊池叔奏選手

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel.0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

第54回生徒会誌表彰 専修大学北上高等学校「北鳳」 2年連続「最優秀賞」に輝く



令和4年度第54回岩手県高等学校生徒会誌コンクールの表彰式は10月17日(月)、盛岡市志保町のサンセール盛岡で行われました。専修大学北上高等学校の



「卒業後も読み返したくなる」
第2の卒業アルバムのように工夫しました



生徒会誌「北鳳(ほくほう)」が見事2年連続「最優秀賞」に輝き、小田嶋唯音(小田嶋唯音)3年(和賀西中出身)、菊池優智(小田嶋唯音)2年(南城中出身)、岩本美咲(小田嶋唯音)1年(上野中出身)に賞状と盾が授与されました。「北鳳(ほくほう)」は阿部伸(しん)校長先生、

新(しん)校舎建設、専北生の「心(しん)」、3年生の「直情(しん)気」など「SHIN(しん)」という言葉をテーマに設定し編集され、その年ならではの専北の記録、もちろめた時に読みたくなるもの、卒業後も読み返したくなるもの(第2の卒業アルバムのように)、次年度へのメッセージとして、(例)専北生として考えていきたいこと(校則について・トイレの使い方・選挙・私学助成)続けていきたいこと(学園祭・生徒会企画や部活動の活躍)等、記事の充実や読みやすさ、構成が高く評価され、2年連続「最優秀賞」の受賞となりました。

- ◆最優秀賞(1校)
専修大学北上高等学校
北鳳(ほくほう)
- ▽編集委員長 小田嶋唯音
- ▽副編集長 菊池優智
- ▽編集委員 阿部蒼太(岩本美咲) 内館梨紗(及川林仁) 小澤可南(上林大起) 木川優来(工藤ゆら) 高橋幸月
- ▽生徒会顧問 川嶋三種 上山祐希子 新屋朝加 中村友香
- ▽表紙絵 新屋朝加
- ▽裏表紙 中村友香

第54回岩手県高等学校生徒会誌コンクール表彰式 並びに生徒会誌編集研究会



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

「第46回私学デー」盛岡駅前滝の広場で開催 第16回私学フェスティバル 岩手県内私立高校の祭典！2022



10月10日(月)盛岡駅前滝の広場で午前10時から第46回私学デー、第16回私学フェスティバルが開催されました。本校からは、生徒11名、教員4名参加しました。



46回を数える私学デーも、2005年(平成17年)から現在のようないふふフェスティバル形式として、北上からスタートし、盛岡一関、奥州と毎年ローテーションで開催し今年で16回目を迎えました。



交流会や私学助成学協会という形で活動を続け、今回3年ぶりの開催となりました。2020年度(令和2年度)から国の高等学校就学支援金制度が拡充され、世帯収入が500万円未満相当世帯の私立高校に通う生徒の経済的負担は大幅に軽減されました。また、岩手県では、620万円未満世帯に対し月額11550円を上乗せ補助することで、岩手県内の6割を超える私立高校生(全日制)の授業料実質無償化が実現されました。これも学費負担の公私間格差是正を一貫して訴えてきた私学助成運動の成果です。

岩手県内では高校生の約30%、およそ70000人が私立高校で学んでいます。高校は公教育機関として、建学の精神に基づいて教育をすすめる、岩手県内高校教育で重要な役割を果たしています。



- ▽私学助成・学協局
 - 副局長 菊池塚校
 - 小原登和菜
 - 青山優智
 - 岩本実咲
 - 岩本直美
 - 木川優来
- ▽群舞局
 - 副局長 高橋理月
 - 吉田幸由
 - 堀川 葵
 - 菊池孝成
 - 川嶋二穂
 - 上山結希子
 - 八重穂 良

参加した本校の生徒
▽副実行委員長 小田嶋唯音
▽ステージ企画運営局 局長 阿部孝太

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
〒0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

高大接続研究事業特別講義「総合科目」10月12日(水) 石巻専修大学 経営学部 情報マネジメント学科 浅沼大樹 教授 「勉強することの意味を勉強する」



令和4年度高大連携事業「総合科目」第12回目の授業は10月12日(水)本校ケリエーションホールで「勉強することの意味を勉強する」と題して石巻専修大学経営学部情報マネジメント学科浅沼大樹教授から講義をいただきました。



「勉強って何のために勉強するの?」という疑問は少なくとも1回は皆考えたことだ。大学に入れば、良い仕事に就け、給料をたくさん貰え、良い生活を送れることが確約されていた。高校生の頃から、受験に勝利し良い大学に行けたら成功することだ。納得して勉強できた。

1990年代前半まではこの問いに対して明確な答えがあった。「受験で必要だから」という答えが、高度経済成長期を経て、良い大学に入れば、良い仕事に就け、給料をたくさん貰え、良い生活を送れることが確約されていた。高校生の頃から、受験に勝利し良い大学に行けたら成功することだ。納得して勉強できた。

そもそもこの問いにはWHY(なぜ勉強するのか)とWHAT(何を勉強するのか)の2つに対する答えがある。何故勉強しなければならぬのかの答えとなるキーワードは偶然である。偶然の出合いが将来の自分を切り開いてくれる。人たちが持つべきものが多い。勉強して準備ができていないと、機会を機会と認識できず、偶然の機会を逃すことになる。



勉強は、偶然の機会を見つけて、人生を豊かにしていく。何を勉強しなければならぬのかの答えとなるキーワードは論理である。AIは確立と統計をもつて答えを導くことができるが、変えることへの対応はAIにはできない。人間でも対応することは難しいが、未成年状態から抜け出した人間であれば可能である。

明けるようになることで将来の未知にも対応できるように考える。勉強が進んでいける高校大学のうちに、自身の勉強のやり方を確立し、どう勉強すれば理解でき、どう勉強するか自分で論理立てられるようにすること。偶然の機会を逃さないために勉強を継続してほしい。以下は、勉強生徒の感想です。

勉強は、偶然の機会を見つけて、人生を豊かにしていく。何を勉強しなければならぬのかの答えとなるキーワードは論理である。AIは確立と統計をもつて答えを導くことができるが、変えることへの対応はAIにはできない。人間でも対応することは難しいが、未成年状態から抜け出した人間であれば可能である。

勉強は、偶然の機会を見つけて、人生を豊かにしていく。何を勉強しなければならぬのかの答えとなるキーワードは論理である。AIは確立と統計をもつて答えを導くことができるが、変えることへの対応はAIにはできない。人間でも対応することは難しいが、未成年状態から抜け出した人間であれば可能である。



勉強は、偶然の機会を見つけて、人生を豊かにしていく。何を勉強しなければならぬのかの答えとなるキーワードは論理である。AIは確立と統計をもつて答えを導くことができるが、変えることへの対応はAIにはできない。人間でも対応することは難しいが、未成年状態から抜け出した人間であれば可能である。

勉強は、偶然の機会を見つけて、人生を豊かにしていく。何を勉強しなければならぬのかの答えとなるキーワードは論理である。AIは確立と統計をもつて答えを導くことができるが、変えることへの対応はAIにはできない。人間でも対応することは難しいが、未成年状態から抜け出した人間であれば可能である。

の参考になりました。▼日本の今の経済状態や、今後どうなるかに衰退していくのかを聞いたことにより、勉強しないといけないなと思えた。▼生きていくためには勉強は必須だということ。一生懸命生きて自分の未成年状態を抜け出すことが大切ということを知ることができてよかった。

勉強は、偶然の機会を見つけて、人生を豊かにしていく。何を勉強しなければならぬのかの答えとなるキーワードは論理である。AIは確立と統計をもつて答えを導くことができるが、変えることへの対応はAIにはできない。人間でも対応することは難しいが、未成年状態から抜け出した人間であれば可能である。

勉強は、偶然の機会を見つけて、人生を豊かにしていく。何を勉強しなければならぬのかの答えとなるキーワードは論理である。AIは確立と統計をもつて答えを導くことができるが、変えることへの対応はAIにはできない。人間でも対応することは難しいが、未成年状態から抜け出した人間であれば可能である。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

第75回秋季東北地区高校野球大会(庄内銀行・日新製薬スタジアムやまがた)

2回戦 [10月11日(火)] 専修大学北上高等学校 1 - 2 山形中央高等学校 (岩手県第2代表) (山形県第1代表)



1安打2失点と完投した板垣翼投手
(菅2年) (宮城・小野田中出身)

板垣翼投手気迫、1安打完投
四死球4・奪三振4
105球の好投



二塁打を放つ齋藤蒼波選手
(菅2年) (北上北中出身)



二塁打を放つ千田凌琉選手
(菅2年) (胆沢中出身)

10月11日(火)
〔庄内銀行・日新製薬スタジアムやまがた〕
▽2回戦
山形中央
000200000000
専大北上
000001000000
1 2

みだった。
板垣翼投手は1300mの台
中盤の直球を軸にスライダ
ー、カーブ、チェンジアッ
プなど変化球を効果的に使
った。相手打者を詰まらせ
た直球は球速表示が以上に勢
いがあった。
0-1-2の5回は1死一、
三塁から近藤大雅選手(菅
2年)×神戸・上野中出身)の
内野ゴロの間に1点を返
した。二塁打や触失でイニ
ングの先頭打者が4度出
塁。相手を上回る6安打を
放ち、好機を作ったが生か
しきれず惜敗した。



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H	E
山形中央	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	13	3
専大北上	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	6	0

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
TN	5	1	9	7	2	8	3	4	6
山形中央	清水	武木	渡戸	我渡	小田	邊	邊		
中央	水田	村聖	村妻	秀林	村				

UMPIRE
PL 1B 2B 3B
小富藤佐
西椋木藤

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
H	9	3	2	7	4	8	5		
専大北上	坂	辻	千	近	齊	山	小	江	佐
上	本	野	田	藤	藤	上	内	川	木

庄内銀行・日新製薬 スタジアムやまがた

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel.0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

北上市高校生俳句バトル！2022 館長賞(高野賞) 高橋ひより〔普3年〕(飯豊中出身) 文芸協会賞(山下賞) 高橋哉斗〔普2年〕(和賀東中出身)



10月8日(土)日本現代詩歌文学館を会場に「北上市高校生俳句バトル2022」が開催されました。「詩歌の街きたかみ」で学ぶ高校生に、よみ俳句に親しみ始める文章としての詩歌にスポットを当ててく市内3校が集いバトルが展開されました。参加チームは、「専修大学北上高等学校A」「専修大学北上高等学校B」「黒沢尻工業高等学校」で本校のみ2チームが参加しました。



団体戦では、第2位、第3位。個人戦では、館長賞(高野賞)に高橋ひよりのさん(普3年)(飯豊中出身)が受賞しました。おめでとうございます。高橋哉斗さん(普2年)(和賀東中出身)が受賞しました。おめでとうございます。北上市文芸協会賞(山下賞)。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

専修大学北上高等学校地域連携企画 第3回懐かしきレコードと音楽に親しむ 黄金の昭和50年代ヒット曲 とりお☆かのんミニコンサート開催される



第3回懐かしきレコードと音楽に親しむ黄金の昭和50年代ヒット曲の今回の企画は、歌謡番組系録音であった昭和50年代、もう40年前後が経っていますが、令和の現在でも歌い継がれたり、再評価されたりしています。



10月8日(日)午後2時30分から本校クリエーションホールを会場に、専修大学北上高等学校地域連携企画、第3回懐かしきレコードと音楽に親しむ黄金の昭和50年代ヒット曲と、北條由香さんのピアノ、平野忍さんのヴァイオリン、安藤拓也先生のオーボエによる、とりお☆かのんのミニコンサートが開催され、駆けつけた観客は土曜の屋下がり心地好いひと時を過ごしました。



吉田俊哉先生が、サタデーフアンキーズ(毎週土曜10時50分)の生放送情報番組、MCA・B・C-1Zの塚田様一さんの取材を受けました。



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

コロナ禍の事業者支援 第3回専北マルシェ(体験型販売実習)開催 物販イベントで経営学を学ぶ

専修大学北上高等学校が北上市にある意義を理解し
北上市や各事業主さんと協力し
「専北マルシェ」を更に発展させていきたい

10月8日(土)北上市本石町詩歌の森公園で
ビジネスのやりがいや大変さを学ぶ



10月8日(土)、北上市本石町の詩歌の森公園で物販イベント「第3回専北マルシェ」を開催しました。



多くの生徒たちは、仕入れの際には事業者と価格や商品数の交渉を体験し、改めてビジネスのやりがいや大変さを学びました。

参加者は、グローバルビジネス科1年生56人、商業科2年生74人の130人が26店舗に分かれ販売しました。
今回の「専北マルシェ」は、グローバルビジネス科1年、商業科2年の生徒が実際の現場でビジネスを学ぶ機会として企画されました。
各チームはリーダーを中心に連絡、会計、広報、スケジュールの各担当が協力店との打ち合わせや販売方法、予算計画など準備を7月から進めて、10月8日の本番を迎えました。
饅頭、パン、おにぎりの弁当、ハンバーガー弁当、ハンバーガー、餅タコス、クッキー、ケーキ、専北オリジナルドーナツ等々、コロナウイルス感染予防対策として各ブースの間隔を空け、消毒やマスク着用を徹底し販売しました。



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：島山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

**10/6(木) 日本現代詩歌文学館で行われた
令和4年度北上市明るい選挙啓発ポスターコンクール表彰式で
専修大学北上高等学校「最優秀賞」「優秀賞」「優良賞」「佳作」7名受賞**



【優良賞】 佐藤舞河
【普3年】 (水沢南中出身)



【優秀賞】 高橋幸月
【普2年】 (上野中出身)



【最優秀賞】 加藤桃葉
【普1年】 (上野中出身)



【佳作】 秋野耕真羽
【普1年】 (和賀西中出身)



高橋幸月さん 加藤桃葉さん



【優良賞】 齋藤理央
【普3年】 (水沢南中出身)



【佳作】 山影紫音
【普3年】 (茨波第一中出身)



【佳作】 峰谷結慧
【普3年】 (磐井中出身)



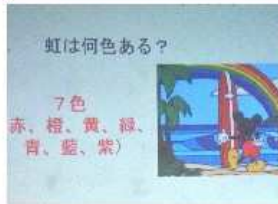
山影紫音さん 峰谷結慧さん 秋野耕真羽さん 佐藤舞河さん 齋藤理央さん

専大北上ニュース

専修大学北高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌香
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤謙

高大接続研究事業特別講義「総合科目」10月5日(水) 石巻専修大学 人間学部 人間文化学科 遠藤郁子 教授 「日本文学の現在」



令和4年度高大連携事業「総合科目」第11回目の授業は10月5日(水)本校ケリエーションホールで「日本文学の現在」と題して石巻専修大学人間学部人間文化学科遠藤郁子教授から講義をいただきました。はじめに遠藤郁子教授から人間文化学科の紹介がありました。人間文化学科には異文化理解・芸術文学コースと地域社会支援コースの2コースがあり、言語や芸術をはじめとする文化全般に関心をもち、学生や文化を通して地域の創生振興に意欲のある学生を求めています。少人数制だからこそできる、学生へのきめ細かい指導やゼミや研究室の枠を越えた研究が可能であるところを魅力として語っていました。

文学の話に入る前に、言葉と世界の関係性について説明がありました。例えば虹の7色について、海外では藍色を表す言葉がないから6色にされることが多いそうです。日本語にはタコとエイと分けて言葉がありますが、キリスト教圏ではそれらはDEVIL FISHと呼ばれ一に表現されています。星座の知識がなければ星の星座の形も単なる星の集まりのしか認識できません。観念が存在するから物事に名前がつくのではなく、名前がついて初めて観念が私たちの思考の中に存在します。言葉があるからこそ、世界を認識できるのです。文学での出会いは「新たな世界と出会うこと」であり、言葉があるから文学では現実ではない世界も表現することが出来ます。言葉と世界の関係の話を聞いて、よい日本文学についての話になりました。



また、「日本にルーツを持ち外国語で小説を発表している外国人作家の作品」は日本文学の研究対象にはならないそうです。筆者も迷いましたが、長崎にルーツのある英国人作家カズオ・イシガロ氏も対象外だそうです。次に文学賞から見える日本文学のいまという題で最高峰であるノーベル文学賞から新人作家の登場門芥川賞、そのほか国際文学賞受賞者とその作品についても話がありました。30カ国語に翻訳され、世界中で読まれている村上春樹『コンビニ人間』は多くの生徒の興味を引きました。

最後に遠藤郁子教授からは、日本文学の現在と日本語が「選び取られた意味」について話されました。個の問題だけでなく世界共通の問題を求(あ)び出すことができる。日本だからこそ、日本語だからこそ表現しうる世界が見えるのだと締めくくりました。以下は、受講生徒の感想です。▼日本文学というのはなぜ日本語を限定しているのかと言ったら、日本語だからこそ表現できる世界があるからというのを知った。▼言語についてとても深く学べたし日本文学についてあまり知らなかったことが多かった。今回知ることでできて良かった。▼今まで触れていなかった日本文学

ができた。文学賞にはたくさん種類があり、ノーベル賞を受賞した日本人は2人いることを知れた。▼現代の日本文学は、日本だけに留まらず、世界で共通の問題を解決する、とても可能にすることができていることを知った。▼文学の私のイメージが文で学問を伝えるという単純なものかと思っていたがイメージとは違いすごく深いものだった。言葉の由来や伝え方など様々あるかその言葉の意味も考えさせられるような授業だった。文学にはたくさんあることを知ることが出来た。▼星や、月はそれぞれ別の国や人によって見え方が違うということがわかった。日本文学が大切にされている理由がどうやって現在まで伝わってきたのかか分かった。▼多くの小説の種類を教わり、興味がわいた。▼最近の世界情勢を見ると、文化の違いという大きな壁を感じることがあったので、タイムリーでとても勉強になった。▼日本文学は日本だけの昔の話や現在の小説だと思っていたけど、日本に関わっている人や国も調べていることがわかった。▼聞かなくさんあったり、ノーベル賞に受賞した人の紹介があったり、知らないことを沢山学べるのが良かった。▼日本文学研究の仕方が普段の勉強でも使えることや日本の文学は凄いとびっくりを知れた。

り、言葉があるから文学では現実ではない世界も表現することが出来ます。言葉と世界の関係の話を聞いて、よい日本文学についての話になりました。まずは日本文学の研究対象になるもの、ならないものについて説明がありました。生徒の皆さんや筆者が迷ったものとして「1920年代の台湾で発表された小説」がありました。こちらは20年代というのかポイントで、日本の領地だったことが大きく影響していることから研究対象であるそうです。

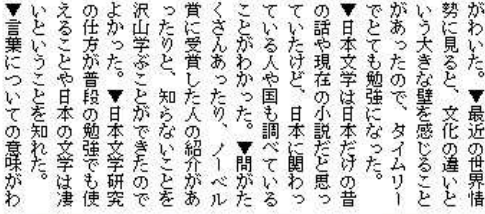


最後に遠藤郁子教授からは、日本文学の現在と日本語が「選び取られた意味」について話されました。個の問題だけでなく世界共通の問題を求(あ)び出すことができる。日本だからこそ、日本語だからこそ表現しうる世界が見えるのだと締めくくりました。以下は、受講生徒の感想です。▼日本文学というのはなぜ日本語を限定しているのかと言ったら、日本語だからこそ表現できる世界があるからというのを知った。▼言語についてとても深く学べたし日本文学についてあまり知らなかったことが多かった。今回知ることでできて良かった。▼今まで触れていなかった日本文学



ができた。文学賞にはたくさん種類があり、ノーベル賞を受賞した日本人は2人いることを知れた。▼現代の日本文学は、日本だけに留まらず、世界で共通の問題を解決する、とても可能にすることができていることを知った。▼文学の私のイメージが文で学問を伝えるという単純なものかと思っていたがイメージとは違いすごく深いものだった。言葉の由来や伝え方など様々あるかその言葉の意味も考えさせられるような授業だった。文学にはたくさんあることを知ることが出来た。▼星や、月はそれぞれ別の国や人によって見え方が違うということがわかった。日本文学が大切にされている理由がどうやって現在まで伝わってきたのかか分かった。▼多くの小説の種類を教わり、興味がわいた。▼最近の世界情勢を見ると、文化の違いという大きな壁を感じることがあったので、タイムリーでとても勉強になった。▼日本文学は日本だけの昔の話や現在の小説だと思っていたけど、日本に関わっている人や国も調べていることがわかった。▼聞かなくさんあったり、ノーベル賞に受賞した人の紹介があったり、知らないことを沢山学べるのが良かった。▼日本文学研究の仕方が普段の勉強でも使えることや日本の文学は凄いとびっくりを知れた。

かかった。これからいろんな言葉がつけられると思うので考えてみようと思う。▼色々な驚きがあることを、多くの観点があることを知った日本文学の定義や日本文学の作者や賞などの現状について知ることが出来た。▼言葉があるかないかによって表現できる出来ないが変化する仕組みを理解出来た。日本の文学賞がすごいことがわかった。話がわかりやすい▼言語活動とは、ある観念があるから存在し、それに名前がつくことではない、名前がつけられる中で存在するようになることが分かった。▼普段文学について考えないので今回の講義で文学について知ることが出来た。最初文学の意味を知ることができた。そして日本文学についてとても詳しく理解できた。



かかった。これからいろんな言葉がつけられると思うので考えてみようと思う。▼色々な驚きがあることを、多くの観点があることを知った日本文学の定義や日本文学の作者や賞などの現状について知ることが出来た。▼言葉があるかないかによって表現できる出来ないが変化する仕組みを理解出来た。日本の文学賞がすごいことがわかった。話がわかりやすい▼言語活動とは、ある観念があるから存在し、それに名前がつくことではない、名前がつけられる中で存在するようになることが分かった。▼普段文学について考えないので今回の講義で文学について知ることが出来た。最初文学の意味を知ることができた。そして日本文学についてとても詳しく理解できた。

かかった。これからいろんな言葉がつけられると思うので考えてみようと思う。▼色々な驚きがあることを、多くの観点があることを知った日本文学の定義や日本文学の作者や賞などの現状について知ることが出来た。▼言葉があるかないかによって表現できる出来ないが変化する仕組みを理解出来た。日本の文学賞がすごいことがわかった。話がわかりやすい▼言語活動とは、ある観念があるから存在し、それに名前がつくことではない、名前がつけられる中で存在するようになることが分かった。▼普段文学について考えないので今回の講義で文学について知ることが出来た。最初文学の意味を知ることができた。そして日本文学についてとても詳しく理解できた。



かかった。これからいろんな言葉がつけられると思うので考えてみようと思う。▼色々な驚きがあることを、多くの観点があることを知った日本文学の定義や日本文学の作者や賞などの現状について知ることが出来た。▼言葉があるかないかによって表現できる出来ないが変化する仕組みを理解出来た。日本の文学賞がすごいことがわかった。話がわかりやすい▼言語活動とは、ある観念があるから存在し、それに名前がつくことではない、名前がつけられる中で存在するようになることが分かった。▼普段文学について考えないので今回の講義で文学について知ることが出来た。最初文学の意味を知ることができた。そして日本文学についてとても詳しく理解できた。

かかった。これからいろんな言葉がつけられると思うので考えてみようと思う。▼色々な驚きがあることを、多くの観点があることを知った日本文学の定義や日本文学の作者や賞などの現状について知ることが出来た。▼言葉があるかないかによって表現できる出来ないが変化する仕組みを理解出来た。日本の文学賞がすごいことがわかった。話がわかりやすい▼言語活動とは、ある観念があるから存在し、それに名前がつくことではない、名前がつけられる中で存在するようになることが分かった。▼普段文学について考えないので今回の講義で文学について知ることが出来た。最初文学の意味を知ることができた。そして日本文学についてとても詳しく理解できた。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒



写真で見る③
第60回学園祭



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒



写真で見る2 第60回学園祭



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
<http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp>

メディア委員長: 高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒



専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
Tel.0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長: 高山萌香
メディア委員会担当:
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

**第60回学園祭「Restart~新しいアルバムの1ページに~」
PTA企画ゴロゴ松本さんを講師に招き「命の授業」講演会開催される
笑いの中で心に響く漢字や言葉の奥深さを学ぶ**



漢字「命」を体で表す一発ギャグで知られる芸人のゴロゴ松本さんが10月1日(土)専修大学北上高等学校第60回学園祭のPTA企画



画の講師として来校し本校体育館において14時50分~15時50分の1時間「命」をテーマとした大勢の生徒、保護者約100名を対象とした講演会を開催された。講演会では「命」の成り立ちを楽しく伝え、生徒、保護者約100名を対象とした講演会を開催された。



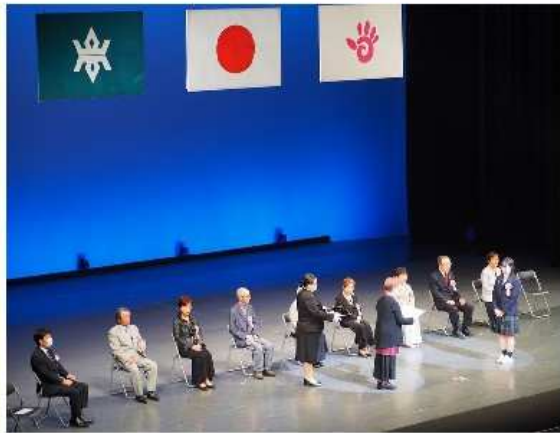
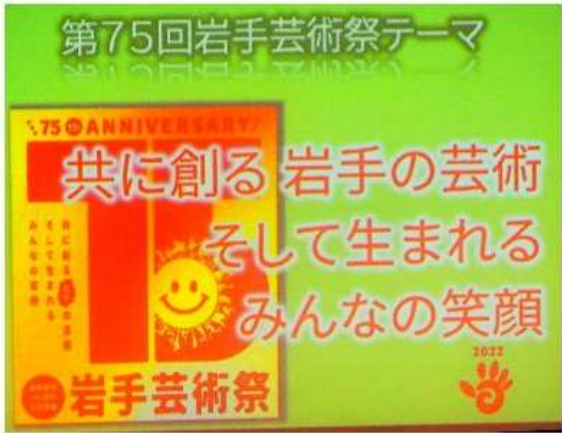
0人からは盛んに笑いがありました。ゴロゴさんは自らのギャグをきっかけに漢字に興味を持ち、意味の深さに感銘を受けて、2011年から各地の少年院で講演活動を行っています。この日も漢字に込められた意味や言葉遊びを紹介。命名、運命、宿命など「命」がつく漢字を列挙。「命はお母さんかお父さん」大切なもの。困ることもつらいことがあったとしても、命をかける前に心にかけて、命がけより心がけを意識してほしい」と締めくくった。

専大北上ニュース

専修大学北上高等学校
TEL0197-63-2341
http://www.senshu-u-kitakami.ed.jp

メディア委員長：高山萌香
メディア委員会担当
吉田俊哉・佐々木文弥・佐藤諒

10月1日(土)岩手県民会館大ホールで開催された 第75回岩手芸術祭総合フェスティバルでテーマ優秀作に選ばれた 佐藤遙音さん〔普通科2年〕(胆沢中出身)表彰される



10月1日(土)岩手県内最大の芸術祭典である第75回岩手芸術祭総合フェスティバルが岩手県民会館大ホールで開催され、テーマ優秀作に選ばれた佐藤遙音さん(普通科2年)(胆沢中出身)が、第2部「感謝の



セレモニー」で、各分野での優秀作受賞者と共に、表彰状と副賞を授けられました。佐藤遙音さんが制作したテーマ「共に創る 岩手の芸術 そして生まれる みんなの笑顔」は「コロナ禍でソーシャルディスタンスを強いられ、マスクのために表情が相手に伝わらないなど開き感が続くなか、芸術が開くことで人と人とかつながり、つながることでマスクの下の笑顔が見えてくる。みんなを笑顔にする」というものでした。連増拓也岩手県知事のおいさづ(副知事代読)でも、佐藤遙音さんへの感謝の言葉が述べられ、会場を埋める観客から、盛んにお祝いの拍手が送られました。

